

災害にそなえ、被害を減らす ～自らの命は自ら守る～

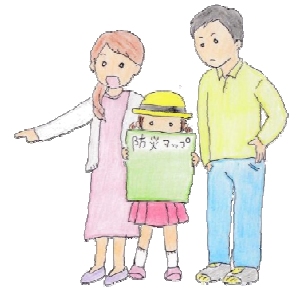
備蓄品の準備

大きな災害が発生した場合、国や自治体の支援が遅れることがあります。最低7日間分の食料・飲料水や生活必需品を日ごろから備蓄しましょう。また、感染症防止のためマスク・消毒液等についても備蓄しましょう。



避難場所・経路の確認

何を持って、何処へ、どの経路で避難しますか？
家族とはどこで会いますか？
家族との連絡方法は？
避難経路にブロック塀や山の斜面など危険箇所はありませんか？
あらかじめ家族で話し合い、自分自身でも考えておきましょう。



家具の固定

家具が動いたり、倒れたりすると避難の障害物となります。また、倒れた家具の下敷きになると命に関わる場合もあります。家具の固定を確実にしましょう。



今できる準備を

家族と一緒に防災を題材にしたボードゲームを行ったり、災害が起こったときのシミュレーションをするなど、家庭で防災について考えましょう。

